

医師紹介

済生会熊本病院 整形外科



整形外科部長 兼 管理運営部長 兼
リハビリテーション科部長

安楽 喜久 あんらく よしひさ
整形外科 / リハビリテーション科 / 四肢外傷センター / リハビリテーション部



副部長
立石 慶和 たていし よしかず
整形外科 / 四肢外傷センター



医長
安藤 卓 あんどう たかし
整形外科 / 四肢外傷センター



医長
上川 将史 かみかわ まさし
整形外科 / 四肢外傷センター



医長
大野 貴史 おおの たかふみ
整形外科 / 四肢外傷センター



医員
高田 紘平 たかだ こうへい
整形外科 / 四肢外傷センター



医員
内田 裕己 うちだ ゆうき
整形外科 / 四肢外傷センター



医員
大塚 貴 おおつか たかし
整形外科 / 四肢外傷センター



医員
生田 純基 いくた じゅんき
整形外科 / 四肢外傷センター



医員
山下 哲平 やました てっぺい
整形外科 / 四肢外傷センター

患者さんの 紹介方法

01 FAXを送る

紹介状を外来紹介センターまでFAXください。

- 紹介状は貴院の書式で問題ございません。
- 予約日に関しては患者さんとの調整も可能です。
ご希望の場合はその旨ご記載ください。

02 当院から予約日をお知らせ

当院より予約票送付と、確認のお電話をいたします。

外来紹介センター

TEL 096-351-8321
FAX 096-351-8697

平日 8:30～17:00 / 土曜 9:00～12:00

※日曜、祝祭日、年末年始を除く
※土曜日は検査のみのご予約はできません

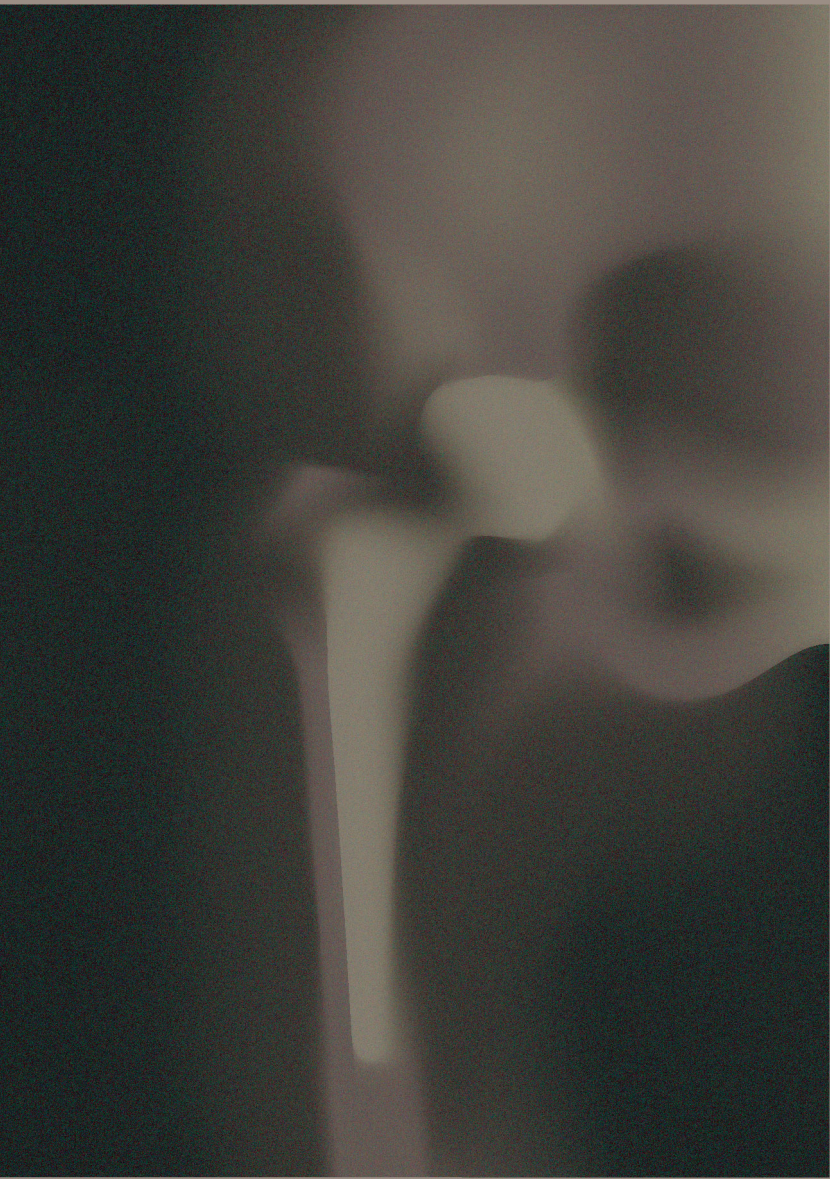
[サイクル]

済生会熊本病院 連携広報誌

vol. 109

2025.November

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。



特集
整形外科

整形外科

Department of
Orthopaedic Surgery



患者さんの早期回復と社会復帰を全力でサポート

済生会熊本病院整形外科は、「外傷や整形外科疾患に対し、専門的かつ安全な医療を提供する」ことを理念に掲げ、日々診療に取り組んでいます。当科では、四肢・骨盤骨折などの外傷や、変形性関節症などに対する治療を中心に、年間約1,400件の手術を実施しています。高齢者に多い大腿骨近位部骨折や橈骨遠位端骨折といった一般的な骨折から、複雑な関節内骨折、骨盤・寛骨臼骨折、血管損傷を伴う軟部組織損傷まで、幅広い外傷に24時間体制で対応しています。特に大腿骨近位部骨折では、合併症予防のため「早期手術・早期リハビリ」を徹底し、さらに二次骨折予防のため骨粗鬆症治療にも積極的に取り組んでいます。地域連携クリニカルパスを活用し、地域医療機関と情報を共有しながら、切れ目のない治療を提供しています。骨盤・寛骨臼骨折や膝・足・手の関節内骨折では、難易度の高い症例も少なくありません。当院では術中CTを併用し、正確な整復と強固な内固定を行うことで、できる限り早期の機能回復を目指しています。また、下肢荷重関節外科も得意分野です。変形性関節症に対しては、低侵襲手術やナビゲー

ションシステムを用いた人工膝関節置換術、前方アプローチによる人工股関節置換術などで良好な成績を収めています。超高齢社会では、合併症リスクが高い患者さんや脆弱性骨折症例が増加しています。安全で質の高い医療には、適切な手術手技に加え「周到的な周術期管理」が不可欠です。当院では包括診療医と協働し、「患者さん中心のチーム医療」を実践。合併症予防のための包括的管理を行うとともに、多発外傷や重度外傷では救急科と緊密に連携し、最善の治療を提供しています。私たちは、救急医療から専門的手術、周術期管理に至るまで、すべての過程で高いレベルの安全性を追求し、患者さんの早期回復と社会復帰を全力でサポートしてまいります。



整形外科部長 兼
管理運営部長 兼
リハビリテーション科部長
安楽 喜久
Yoshihisa Anraku

整形外科の取り組み

01 人工股関節前方アプローチ

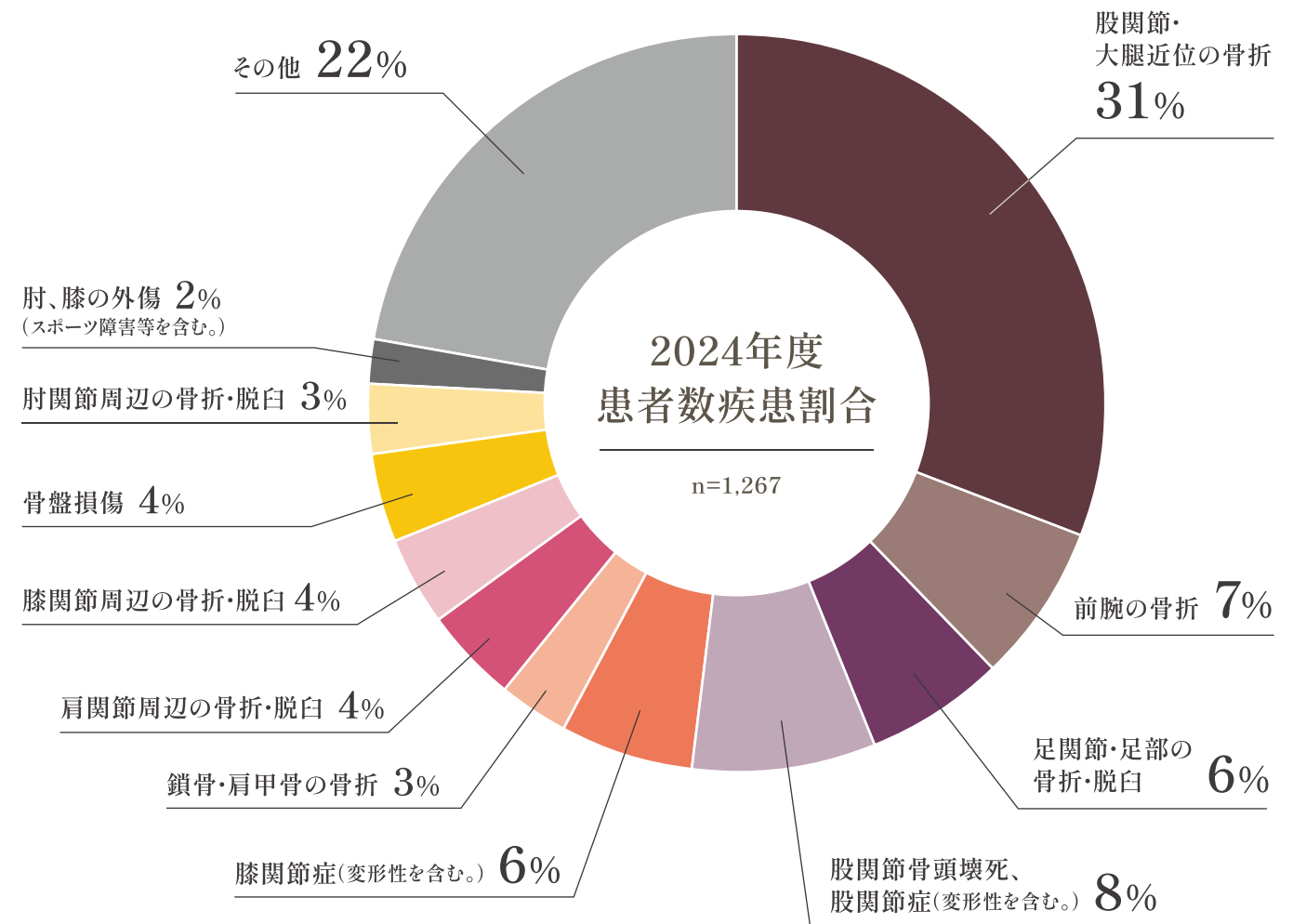
筋肉を切らずに行えるため、術後の痛みが少なく回復が早いのが特徴です。脱臼リスクも低く、術中ナビゲーションにより正確なインプラント設置が可能です。

02 大腿骨近位部骨折の早期手術

日本は超高齢社会であり、骨粗鬆症を背景とした骨折は増加傾向です。当院では受傷後48時間以内の早期手術を実施する体制を整えています。

03 術中CTによる正確な手術

難易度の高い関節内骨折では、移動型3D撮影対応X線透視診断装置を用い、術中CTで正確な整復と内固定を目指します。



当院HP
整形外科紹介

